

平成 28 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社グリーンペプタイト
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
(コード番号:4594 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 酒井 輝彦
(TEL. 03-5840-7697)

当社リード開発品 ITK-1 における
国内第Ⅲ相臨床試験：症例登録完了のお知らせ

当社より富士フイルム株式会社（本社：東京、以下「富士フイルム社」）へ導出した開発品 ITK-1 に関し、現在富士フイルム社より委託され当社にて実施中の前立腺がんを対象とした国内第Ⅲ相臨床試験（以下、「本試験」）におきまして、この度、症例登録が完了しましたのでお知らせいたします。

本試験は、日本発のがんペプチドワクチンのプラセボ対照第Ⅲ相二重盲検比較試験として、手術・放射線療法・ホルモン療法・化学剤療法（抗がん剤）を経た進行性の去勢抵抗性前立腺がん※患者を対象に、全国 60 ヶ所以上の医療機関にて実施しております。本試験において、平成 25 年 8 月より開始されました症例登録は、この度、各医療機関のご協力により平成 28 年 4 月を以って完了いたしました。

今後は一定の観察期間を経て第Ⅲ相臨床試験を終了する予定であり、引き続き安全性に十分留意し本試験を実施してまいります。

また、今回の症例登録完了に伴う平成 28 年 3 月期業績への影響は軽微であります。また、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）の業績見通しについては、平成 28 年 5 月 13 日（平成 28 年 3 月期 決算発表）に本件の影響を考慮して開示する予定です。

以上

【語句説明】

※ 去勢抵抗性前立腺がん：前立腺がんは男性ホルモンにより成長・増殖していく男性特有のがんです。一般的に、手術もしくは放射線療法の後に、男性ホルモンを抑えるホルモン療法（内分泌療法）が行われます。

初期段階ではホルモン療法により治療効果が得られますが、暫くすると再燃し、それを繰り返すうちにホルモン療法の効き目が悪くなり、ホルモン療法を続けていても、がんが増殖するようになることがあります。この状態の前立腺がんを「去勢抵抗性前立腺がん」といいます。

【株式会社グリーンペプタイトについて】

当社は、人が体の中に備え持つ免疫の力を利用してがんを殺傷する「がん免疫治療薬」の研究・開発を行う創薬ベンチャーです。がん免疫治療は、手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第4の治療法」として期待されています。

当社は、現在臨床試験を実施している2本のがんペプチドワクチン（前立腺がんを対象とするITK-1、メラノーマ（悪性黒色腫）を対象とするGRN-1201）に軸足を置きながら、日本発の創薬コンセプトを世界へ発信する新規がん免疫治療薬を創製し、がん治療の革新に貢献して行きたいと考えています。